

# AIを活用したAML業務高度化への取り組み ～三井住友銀行におけるRegTech

LEAD THE VALUE

■ 2019/4/23

■ 三井住友銀行 総務部 AML金融犯罪対応室

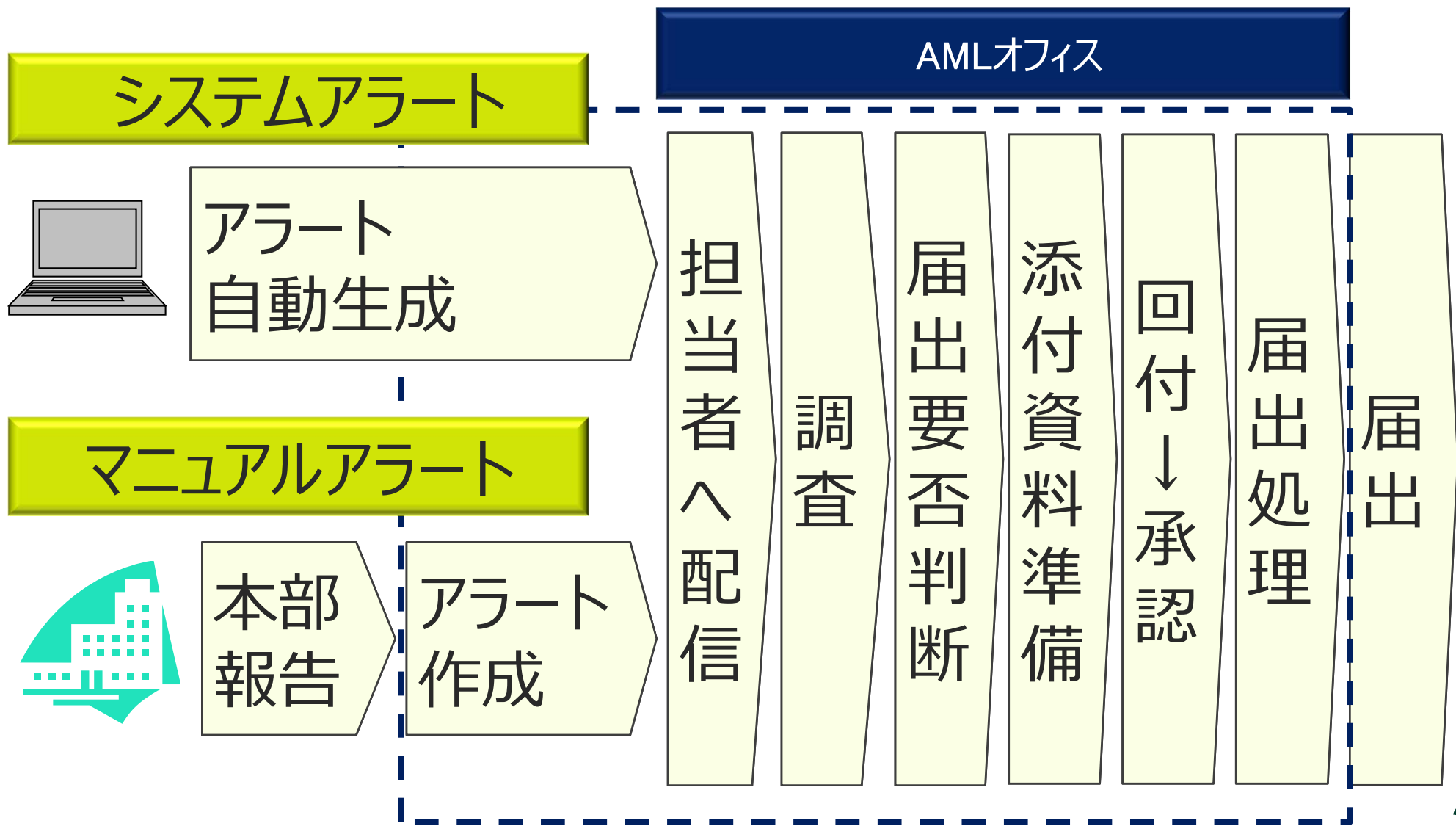


**AML/CFT関連オペレーションにおける  
テクノロジー活用の有効性**

**SMBCでのRegTech導入の取組・導入事例**

# テクノロジー活用の有効性 ①取引モニタリング業務

## 取引モニタリング業務

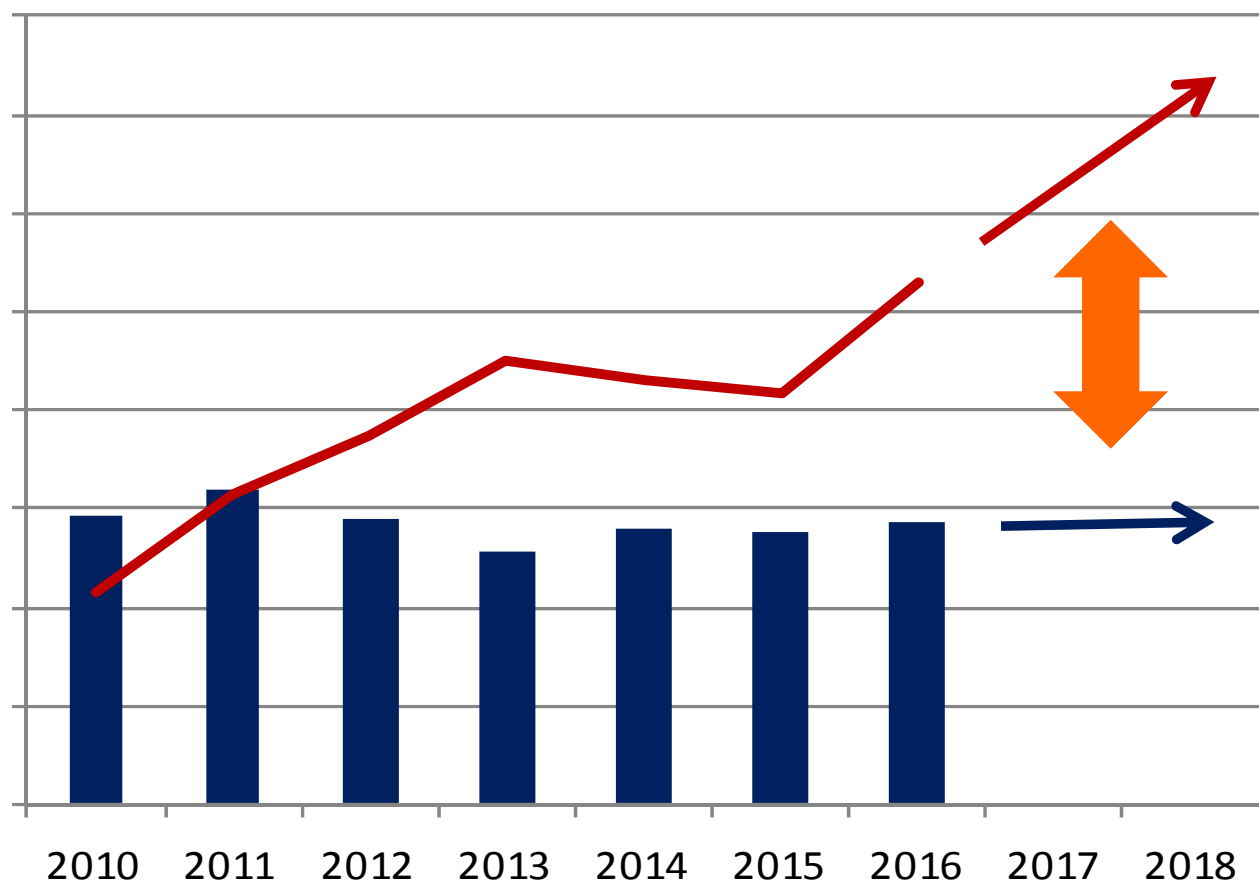


## ■ テクノロジー活用の有効性 ①取引モニタリング業務

### 取引モニタリング業務

アラート数

調査担当者一人あたり処理数



## ■ テクノロジー活用の有効性 ②テクノロジー活用の有効性

### AML/CFT関連

取引モニタリング業務

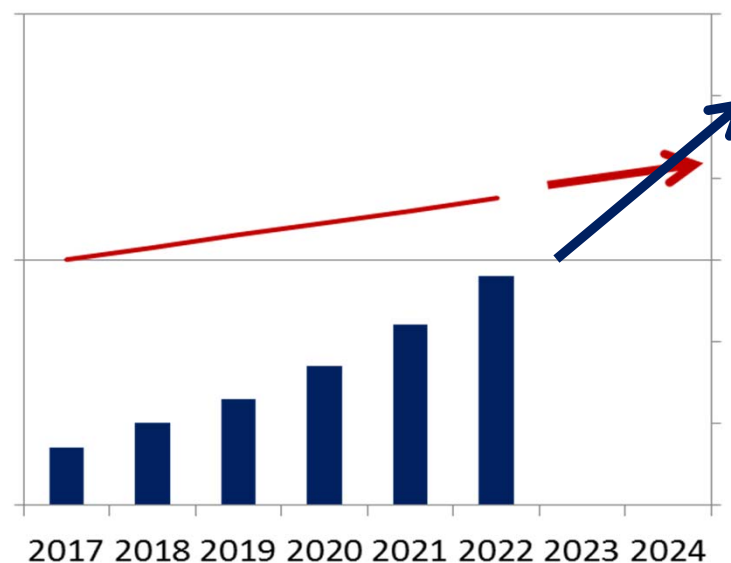
フィルタリング業務

### 反社・金融犯罪

反社スクリーニング業務

金融犯罪被害対応業務

アラート数 調査担当者一人あたり処理数





AML/CFT関連オペレーションにおける  
テクノロジー活用の有効性

SMBCでのRegTech導入の取組・導入事例

# SMBCでのRegTech導入の取組・導入事例

## 業務フローイメージ(現在)

システム/自動化

手作業

システムアラート

AMLオフィス



アラート  
自動生成

担当者へ  
配信

調査

届出要  
否判断

添付資料  
準備

回付↓  
承認

届出  
処理

当局宛  
届出

マニュアルアラート

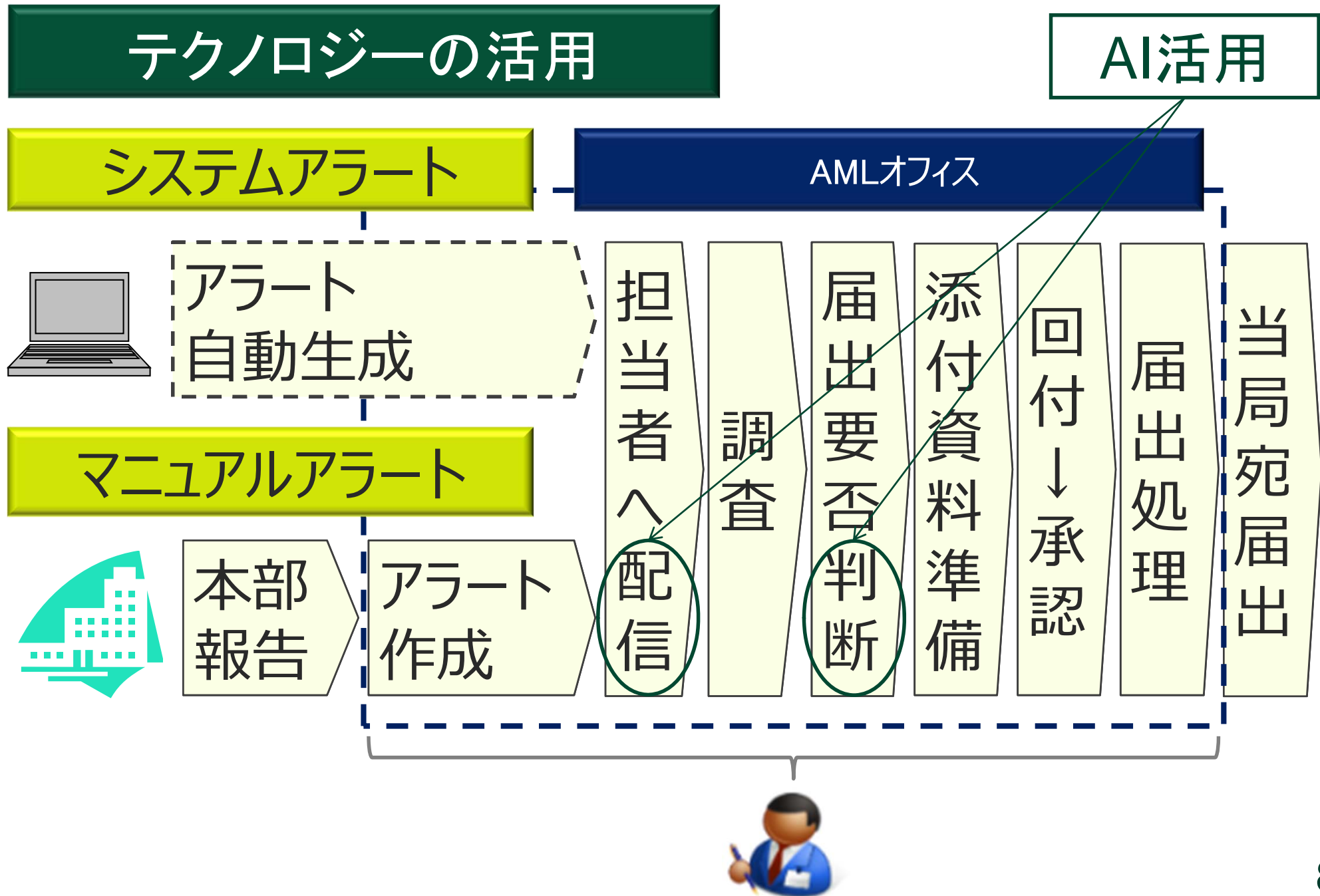


本部  
報告

アラート  
作成



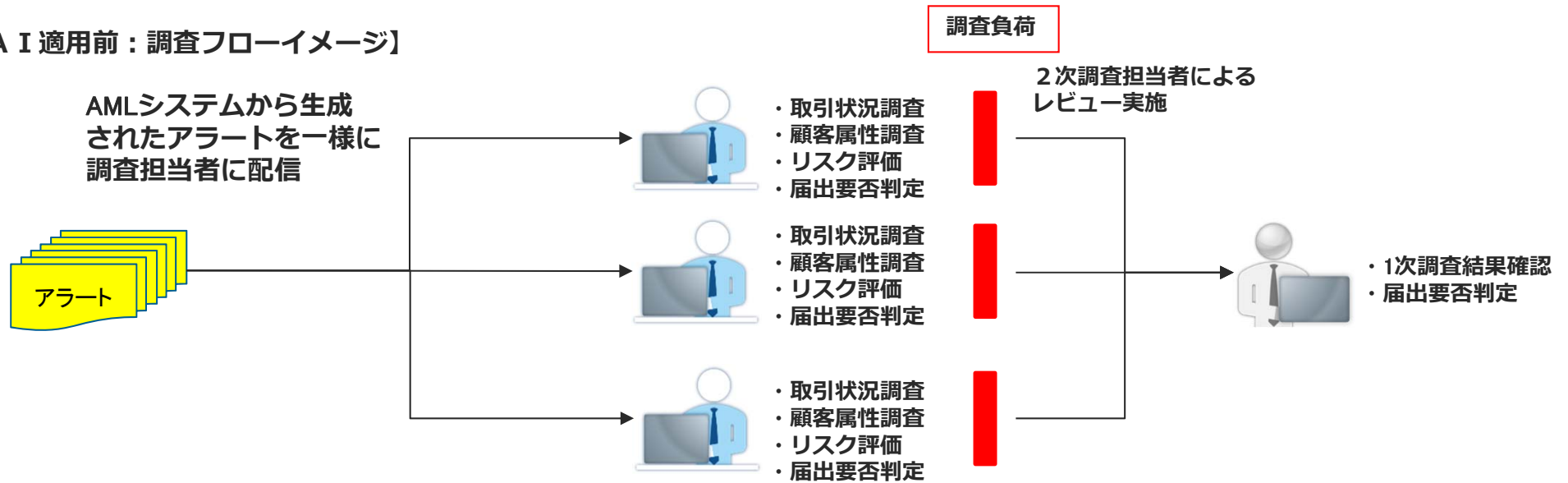
# ■ SMBCでのRegTech導入の取組・導入事例



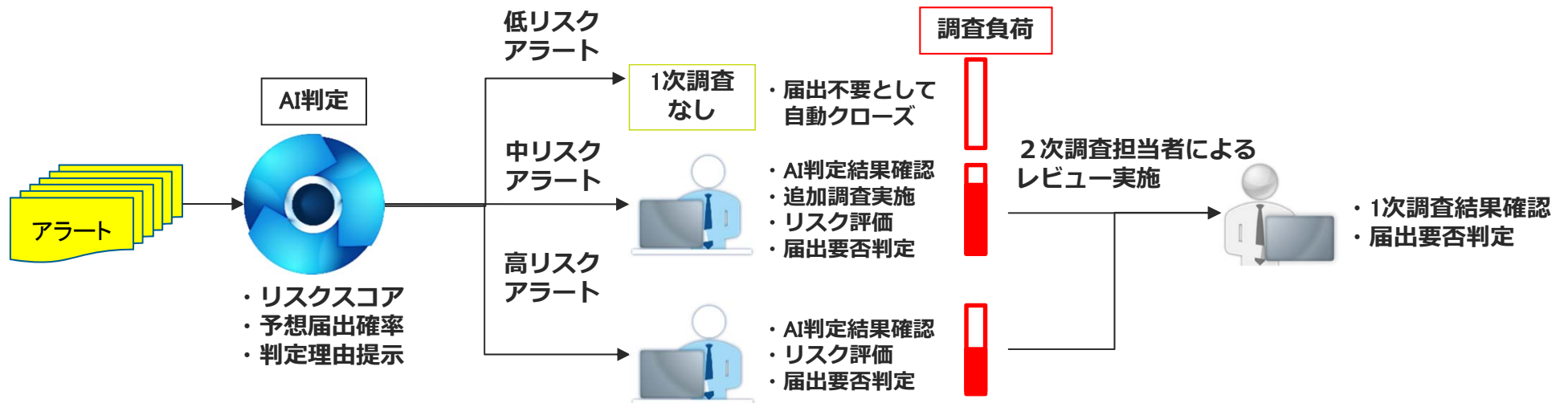


# A I 適用事例

【A I 適用前：調査フローイメージ】



【A I 適用時：調査フローイメージ】



# A I 判定結果イメージ

【判定結果のイメージ】

アラート ID	口座番号	スコア	予想届出確率	高リスク要因メッセージ	低リスク要因メッセージ
XXX	XXXXXX	-70	99.81%	過去SAR届出有。過去SAR届出歴のある相手先との送金有。日次における現金出金の頻度増加。万円単位(ラウンドナンバー)の振込入金が増加。千円単位(ラウンドナンバー)の振込出金が多数。	(なし)
XXX	XXXXXX	-25	96.45%	過去SAR届出有。捜査関係事項照会履歴有。海外送金による入金有。多頻度の現金出金有。	(なし)
XXX	XXXXXX	30	87.10%	海外所在MCIF。万円単位(ラウンドナンバー)の振込入金が増加。	長期顧客(35年以上)。
...	...	...	...	...	...
XXX	XXXXXX	200	1.96%	日次における現金出金の頻度増加。	業種がオフィスビル賃貸/マンション・戸建賃貸であり賃貸借契約に基づく入出金の可能性有。
XXX	XXXXXX	255	0.12%	(なし)	ローン返済に伴う変動の可能性有。高額な振込(1千万~1億)の入金減少。
XXX	XXXXXX	310	0.02%	(なし)	長期顧客(30年以上)。高額総資産顧客。ギャンブル・証券取引などで多数の振替が発生した可能性有。

届出確率が高い  
場合のスコアリング  
結果のイメージ

届出確率が低い  
場合のスコアリング  
結果のイメージ